プログラム名 (40字以内)	持続可能なライフスタイルへの変遷を実現するための科学的アプローチに基づくフィールド実践体験		
団体名/所属	株式会社 百		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/10/11(土)～10/13(月)	主な活動予定場所	宮城県川崎町青根地区(蔵王山麓)
プログラム実施の目的	中山間地域における暮らしや環境問題の現状を知り、未来の地域における持続可能なライフスタイルについて探求すること		
具体的な内容(800字程度)	<p>株式会社百は宮城県川崎町の豊かな自然環境で育まれた里山文化と現代の最先端科学技術を組み合わせ、生活に最低限必要な食とエネルギー(ベーシックインフラ)の自給自足を目指し、農業や体験宿泊施設の「エコモデーション百のやど」の運営をおこなっている。</p> <p>本プログラムでは、株式会社百が提供する環境体験フィールド・プログラムを活用することで、中山間地域における未来型の持続可能なライフスタイルについて考える。具体的には、農業、林業、地域資源を活用したエネルギー利用の体験プログラムを行う。農業においては、収穫体験、青果物の流通の知見、林業においては、山道づくり・伐倒・薪割り体験、エネルギー利用においては、焚火、生ごみから作成したメタンガス利用、一次電池作製、太陽電池・小水力発電・バイオマス発電・温泉熱利用体験を行う。その際、地域住民、大学教員、東北大学の学生とも交流する機会を持ち、未来の暮らしのあり方について議論を深める。本プログラムにおける目標としては、在来知と科学知の融合により、生態系保全型でありつつ、不便すぎない持続可能なライフスタイルの探索を行うことである。特に、自給的な農業・林業を行いつつ、現代的な職業を持ちながら暮らすことが可能かについてディスカッションを行う。</p> <p>2泊3日の滞在中は、以下の内容を体験してもらおう。</p> <p>①里山資源を使った体験 薪割り、畑作業などの里山暮らし体験 地産地消の食を作る、食べる(畑で収穫～みんなでご飯を作り食べる)、ハンギ体験</p> <p>②里山環境と人の営みを五感で理解する 蔵王お釜 探訪 青根温泉・巖々温泉 見学 北原第二水力発電所、白炭窯の見学、レクチャー 川崎町の豊かな山林-萌芽更新林の維持管理について視察</p> <p>③先端技術と自然の融合を考える エコモデーション百にて宿泊を通じたエネルギーと食の地産地消の体験 木材を通じた新技術開発の様子を見学@里山エンジニアリング 青根温泉での排湯を利用した温室栽培を見学 なお、宿泊期間中には青根温泉じゃっほの湯の入浴、地産地消の朝夕のご飯、1日を振り返り未来の里山を考えるディスカッションの時間を設ける。 最終日はプログラムを振り返り、「伝統的な里山文化と先端科学技術が織り成す未来の持続可能なライフスタイル」について意見をまとめる。</p>		
【総額】参加するための費用	60,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	33,000円(16,500円×2泊)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	25,000円(東京⇄仙台(新幹線)+仙台⇄川崎町(バス))		
【内訳】参加するための費用(その他)	昼食代 2,000円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.instagram.com/momo100sho/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://momo100sho.com/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		